

図書館forum

2022年3月

No.19

- 01 図書館長インタビュー
- 03 ここが変わった！附属図書館ホームページ
- 05 附属図書館の貴重資料
- 07 福井大学附属図書館所蔵「小島家文書」を読む(9)
福井大学所蔵の貴重資料、
「小島家文書」を知っていますか？ 長谷川 裕子
- 09 ようこそ本の世界へ(5)
伊崎文庫の紹介
—太宰治研究の新たな拠点として— 膽吹 覚
- 11 BOOKS HUNTING
- 13 図書館 withコロナ2021
- 15 TOPICS with 学生・教職員・部局・学外
- 18 寄贈に関する報告
- 19 読者プレゼント 他



the director of a general library Interview MASANOBU YOKOI

福井大学総合図書館長 横井 正信

学長補佐 / 国際・教育・人文社会系部門 総合グローバル領域 教授

進化し続ける図書館

すべてのことがものすごい勢いで変化する昨今、図書館も「進化」を余儀なくされています。

横井総合図書館長(館長)の考える「図書館の進化」とは…

館長が抱いている「図書館」のイメージとは、どういったものでしょうか

図書館と聞いて多くの人が思い浮かべるのは、大量の書籍や資料を分類所蔵し、利用者は読みたい本や調べたい資料を閲覧したり借りたりする場所というイメージです。閲覧室を利用して調べものをしたり、勉強したりすることもあります。確かに図書館は現在もそのような場所ではありますが、私の印象では、21世紀に入る頃から図書館は大きく変貌しました。

館長のご専門は、現代ドイツの政党政治に関する研究ですが、これまで学生時代など、どのように図書館を利用されていたのでしょうか

私が学生の頃、在学していた大学は規模が大きかったこともあり、学部の「図書室」だけでも7層の書庫に数十万冊の蔵書が所蔵されていましたが、必要な書籍等を探すためには1冊ごとに作成されている蔵書目録カードを手作業で検索し、所蔵されていなければ、他の大学等に出向いて同様の作業を繰り返す必要がありました。自らの専門分野に関してどのような論文が発表されているかも、専門書や学術論文の脚注を参照したり、「日本雑

誌記事索引」という年鑑のようなものを調べて探し出していました。当然のことながら、最新の論文はそれらに未掲載ということもよくありました。

私は自らの研究の性格上、専門書だけではなく、ドイツ連邦議会の議事録、議会に提出された法案や成立した法律、連邦政府や各政党が作成している資料等に加えて、ドイツの新聞や雑誌等を日々見る必要がありますが、かつては日本でそれらを迅速に入手することは、よほど大きな大学に在籍していない限り必ずしも容易ではなく、入手できても数週間あるいは数か月遅れでした。私が1990年代後半に本学から長期海外出張で在ドイツ日本国大使館専門調査員として同国に2年間滞在した際には、そのような文献や資料を入手しやすい環境にあったこともあり、今から考えれば不必要なものまで手当たり次第に入手し、帰国時にそれらを何箱もの段ボール箱に詰めて日本に送りました。

大規模な図書館であっても、資料探しや最新の情報入手には、随分と苦労されたようですが、最近はどうな状況でしょうか

私がドイツに滞在していた頃から本格化し始めたイン

ターネットの普及と、それに対応した図書館の「進化」によって、それまでの状況は劇的といつていいほどの変化を遂げました。かつての「蔵書目録カード」はすべて電子化され、現在ではキーワードを入力すれば瞬時に検索結果を得られるようになっただけでなく、本学附属図書館のホームページを見れば分かりますが、県内外の様々な図書館の蔵書を同時に検索することが可能となっています。雑誌論文の検索もCiNii等の検索システムが整備されて論文の所在の把握が容易になっただけでなく、海外の雑誌や新聞自体が電子化された結果、それらの現物が届くのを待つという必要もなくなりました。本学附属図書館でもそのようなサービスが提供されており、所蔵されていない雑誌の論文もネット経由で図書館に依頼すれば数日で届きます。また、朝日新聞や日経BPの現在及び過去の記事もいつでも読んだり検索したりすることができます。

さらに、雑誌だけではなく、書籍自体も電子化されつつあることから、まだ大量というほどではありませんが、附属図書館のホームページから丸善eBook LibraryやLibrariE等を経由して様々な図書をネット上で「読む」ことも可能になりました。将来このようなサービスがさらに拡大されれば、図書館の所蔵スペースを気にすることなく書籍や雑誌を事実上大幅に増加させることができ、学生や教職員もどこからでも読むことが可能になるでしょう。

省スペースということ言えば、かつて文科系の研究者のなかには研究室や自宅に入りきらないほどの文献や資料を収集している人がしばしば見られ、本の重量で床が抜けそうになるといったエピソードもありました。しかし、電子化が進み、文献や資料がデータ化され、公的なものを中心にネット上でダウンロードすることも可能になった結果、膨大な資料をUSBメモリやクラウド上に保存できるようになりました。私の場合も、かつて段ボール箱に詰めて日本に送った量の何倍もの文献や資料をそのような電子媒体で保管しており、資料の中から必要な部分を見つけ出すための検索も以前に比べてはるかに容易になりました。

この20年で図書館は、時間や場所の制約や物理的な量にもとられずに、学術的な情報を利用できるように「進化」してきたということで、令和を生きる学生の皆さんへのメッセージをお願いします。

これまでお話ししたようなことは、ネットとスマートフォンの時代に生まれ育った学生の皆さんからすれば、「あたりまえ」のことで、「何をいまさら」といったところだと思います。ただし、ネット社会になった結果、私も含めて、何かを調べたり読んだり書いたりする時、「適当」なキーワードを検索エンジンに入力して得られた短い文章や出所不明の情報をよく理解せずに鵜呑みにし、「適当」に切り貼りするといったことが多くなりました。しかし、このような「適当」な努力から得られる結果はあくまで「適当」なものでしかなく、信頼できない怪しげなものであることも多々あります。

その点で、本学附属図書館を含む「進化」した図書館は、大量の書籍や資料を分類所蔵することを超えて、今や「適当」ではなく「的確」で信頼性のある情報を入手するための一種のプラットフォームの役割を果たすようになっています。附属図書館のホームページを丹念に見れば、そのことがよく分かります。附属図書館は今や文京と松岡に加えてネット上にも存在していると言ってもいいでしょう。

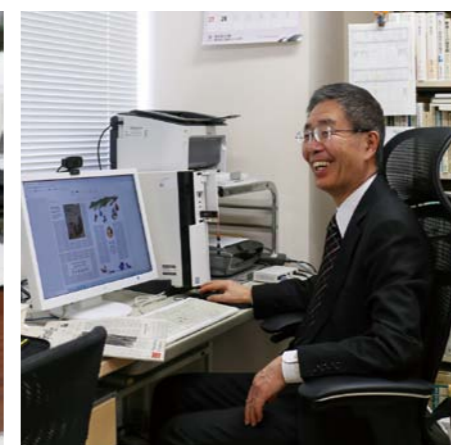
他方で、ネット上だけではなく、例えば、総合図書館は「次世代図書館」「集う図書館」「継承する図書館」の3つをコンセプトとして2008年から2009年にかけて新築と言っていいほど大改修されました。この改修によって、書庫が増設されるとともに、1階のラウンジ、展示コーナー、メディアcommons、グループ学習室、2階の言語開発センター、すべての席に電源コンセントを設置した2階と3階の閲覧室等、設備面でも以前に比べて格段に改善されました。また、工学研究科の大学院生が学習支援をするラーニング・アドバイザー制度等もあります。

このような図書館の「進化」はこれからも続いていくと思いますので、学生の皆さんもそのような意味で図書館を大いに活用してみてください。

かつてドイツからとりよせていた新聞(数週間遅れで日本に到着)



今はパソコンでドイツの当日の新聞や専門雑誌、政府・議会・政党関係文書等をほとんど時間差なしで閲覧・ダウンロードできます。



それらの資料をデータで保存し、一部を翻訳・ファイリングして書架へ



ここが変わった!

附属図書館ホームページ

2021年10月、8年ぶりに図書館のホームページをリニューアル。リニューアル前も、「見やすい」「探しやすい」を考えて構成していましたが、時代と共に変化する要望に応えるため、利用者からの意見をリサーチし、ご要望を取りいれました。利用者からの要望例として多かったものは、開館時間がわかりづらい、グループ・ラボ（医図）の空き状況が知りたい、まずは大学の所蔵を探したい、ジャーナルサイトが見つげづらい、スマホ対応してほしい……あなたの要望もありますか？



グループ・ラボ（医図）、グループ学習室（総図）の利用状況

14室もあるグループ・ラボですが、時期によって満室状態が続きます。カウンターに来てから満室とわかるより、家を出る前にわかったほうが便利！というご意見にお応えして、サイト上で何時から使用しているかわかるようになりました。予約はできませんが、今なら空いているから行こうかな、など予定が立てやすくなりますね。総合図書館のグループ学習室も同様です。TOPページからクリックして、チェックしてください。お隣のカレンダーアイコンから、月別開館カレンダーにいきます。

バナー群

バナー群は、図書館から期間を問わずお知らせしたい事項です。

「利用者講習セミナー」には、近日開催のウェビナー（Web上で開催のセミナー）情報を掲載。

「トライアル中」では、試験導入中の電子ブックやジャーナルのコンテンツや、検索ツールなどのサービスを掲載。

セミナーやトライアル情報は、学生ポータルや学内メールでもお知らせしています。

TWITTER

日々の出来事やお知らせなどを軽いノリでお伝えしています。フォローいただくと嬉しいです。



MyLibrary

プルダウンメニューからやりたいことを選んだ後にログインできます。

サイトマップ

三本線のメニューからサイトマップが開きます。

開館時間

その日の各図書館の開館時間を表示。 ※なお、スタッフが在る有人開館時間の表示のみです。無人開館や、特別開館については、従来どおり図書館カレンダーを参照してください。

NEWS

NEWSには、イベント情報やメンテナンス情報など図書館の最新情報を掲載。

このほか、チャットボットも準備中です。皆さんの便利を実現させるため、図書館のホームページは、これからまだまだ、皆さんと共に進化します。ぜひ使ってみてご意見ください。お待ちしております。

[ご意見はこちら](#)



蔵書検索

蔵書検索では、本学所蔵の図書・雑誌・視聴覚資料・電子ブックを探ることができます。



まるとと検索

まるとと検索では、所蔵に関わらず、世界中の学術資料（図書・雑誌・電子ブック・電子ジャーナル）を探せます。論文タイトルから探したい時に便利です。



電子ジャーナル

電子ジャーナルでは、電子ジャーナルのタイトルから、閲覧可能なジャーナル名と巻号が検索できます。



データベース

電子ジャーナルをまとめたやつ、あれなんていうんだっけ？さいえんすだれくと、うえぶおぶさいえんす、聞蔵はクロスサーチ？……それがなんだかわかんない。よく使うジャーナルサイトやデータベースは直接アクセスしたいけど、たくさんあって探し出すのが大変！ということで、いろんな電子リソースを、分野や、資料媒体（電子ブック、辞書、新聞等）など、いくつかの視点で分けてみました。あなたの求めるカテゴリーがあるといいのですが、いかがでしょうか。



附属図書館の貴重資料

世の中の膨大な資料の中から、時を経て縁あって本学の図書館に貴重資料として居場所を得ています。コロナ禍により、古くて貴重な資料にも改めて光があたり、後世にどう残していくか考える機会を与えられた気がします。そんな本学の貴重資料を紹介します。



閲覧・撮影の利用にあたっては、申請が必要ですが、見学でしたら事前にご連絡いただければご案内いたします。興味がありましたらどうぞお声掛けください。一部デジタル化されている資料もあります。

郷土資料コレクション / 郷土資料室 OPAC

福井県関係の資料を収集



教科書コレクション 一部 OPAC 目録作成中 / 書庫・3階閲覧室

明治から現在までの小中高の教科書（指導書もあり）



貴重資料室和漢書 一部 OPAC 目録作成中 / 貴重資料室

写本・刊本含めた本学に残る和漢書コレクション



山川登美子コレクション / 特殊資料室 Web

恋する女流歌人が病の床で残した直筆ノート他



グリフィスコレクション Web + 図書 OPAC / 特殊資料室

福井藩のお雇い外国人が帰国後書き記した日本の記録



道元文庫 OPAC

本学名誉教授大久保道舟氏の曹洞宗大本山永平寺の開祖道元に関する研究資料



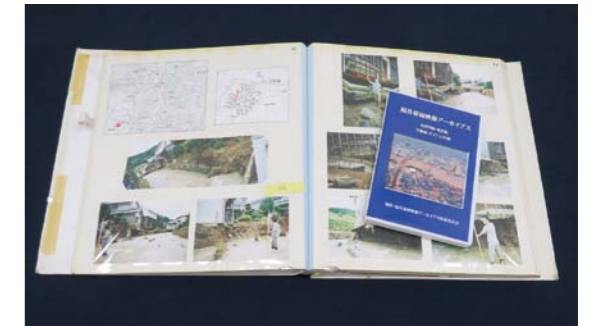
好日文庫 OPAC

国語学者 東北大学教授 小林好日氏の所蔵コレクション



豪雨アーカイブ

平成16年7月に足羽川を決壊させた福井豪雨の記録資料群



高島文庫 一部 Web + 図書 OPAC

郷土の風俗史研究者 高島正氏が蒐集した郷土資料群



小島家文書 Web

三国湊の大庄屋が所有していた大量の文書群

伊崎文庫 OPAC

本学名誉教授伊崎公則氏寄贈の太宰治コレクション

上記2つのコレクションについて詳しく紹介します

Web … デジタル化され、web閲覧可能なもの

OPAC … OPAC検索可能なもの

福井大学所蔵の貴重資料、 「小島家文書」を知っていますか？

教育学部社会系教育講座

教授 長谷川裕子

HASEGAWA Yasuko

出身：千葉県

専門：日本中世史（戦国時代から江戸時代前期の村・民衆生活に関する研究）

本学文京キャンパスにある総合図書館の特殊資料室には、6000点を優に超える江戸時代の古文書群、「小島家文書」が所蔵されています。「小島家文書」は、いわゆる「じかた地方文書」と呼ばれる文書群で、江戸時代の村において行政上の必要から作成された記録や、幕藩権力から発出された公的な通達などを含む数多くの古文書を今に伝えています。

「小島家文書」は、その名の通り小島家に伝わった古文書群です。小島家は、江戸時代には越前国坂井郡野中村（現坂井市三国町野中）に居住して庄屋や大庄屋を務めた家で、まさに村の政治や地域行政の中核的役割を担っていた家でした。庄屋とは、各村に設置された村役人のトップで、村から支払う年貢などの税の徴収・納入を主導し、納税に必要な土地や生業の場を管理するなどの役割を担った存在で、大庄屋は、そうした周辺村の庄屋を取りまとめつつ、村々と領主とを繋ぐ役割を担った存在です。代々、庄屋であり大庄屋であった小島氏の家に残された「小島家文書」には、領主権力の諸政策から当時の社会状況、および村に住む人びとの生活の有り様を紐解く手がかりが豊かに、そして江戸時代初期から明治時代に至る長期に亘って残されているのです。

幕藩権力の政策から一般庶民の生活に至るまで、まだまだ解明されていない難問が江戸時代研究には横たわっています。江戸時代の実像を探るための内容を秘めた「小島家文書」が、現ご当主の小島章宏氏によって本学の総合図書館に寄贈されたのは2012年のことでした。寄贈いただく以前より、小島家は江戸時代以来住んでいた野中村を離れ東京に在住されていましたが、代々伝わる古文書群については、地元にあった方が活用されるとご判断なさった先代の小島武郎氏によって1972年に本学附属図書館に寄託されたのです。その後、さらなる寄託を

受けながら古文書群の整理が進められ、一部未整理のものも残ってはいますが、整理された古文書は『新訂・増補 小島家文書目録』にまとめられるとともに、現在では福井大学附属図書館のホームページ上で「小島家文書」の目録と写真が公開されています（トップページにある「貴重資料」から「小島家文書」Webサイトにアクセスできます。<https://www.flib.u-fukui.ac.jp/elib/kojima/>）。

では、どのような内容の古文書が残っているのでしょうか。まず目を引くのが、大量に残された年貢などの税に関わる公的な古文書です。江戸時代の百姓は、農村であれ、山村であれ、漁村であれ、何らかの生業を営み、それによって生み出された生産物を年貢として領主に貢納していました。貢納は、「むらうけ村請」といって村単位で行われますが、年貢収納時期（生業によって異なりますが、農村であれば米の収穫期）に毎年の税額が領主から「年貢割付状」として通達され、それを受けて村の中で各百姓に年貢を配分し、実際に各百姓が納めた年貢の量などを記した帳簿類が村の中で作成されます。このような貢納関係の古文書は、野中村に限らず、日本全国、各地の村々に残されていることは多いのですが、これらの古



1点ずつ中性紙の封筒に保存しています



文書はその村がどんな生業を行っていたのか、またどれくらいの土地を確保していたのか、そしてそれを利用する人びとが当時は何人ほどいたのかなど、村の基本的な情報やその村の特徴を把握するには欠かせない史料となっています。逆に言えば、貢納関係文書がなければ、村の研究は進められないといってもよいくらいです。江戸時代研究において、村の研究は飛躍的に進められてきていますが、地域による偏差や、生業の違いによる村の個性などについてはまだ今後の研究課題として残っています。その課題を解明するためにも、あらゆる地域の村研究を進め、比較検討していかなければなりません。そのための重要な手がかりが「小島家文書」の中には豊富に残されているのです。

そしてもう一つ、「小島家文書」の特徴となっているのは、小島氏が大庄屋を務めたことによって残された各種の行政文書です。大庄屋は、数ヶ村から数十ヶ村を束ね、領主代官などからの通達を各村に伝えたり、各村からあげられた要請や移動許可書などを領主に提出したりするなど、領主と地域とを取り結ぶセンター的な役割を果たしていました。そのため、大庄屋の家には、村明細帳や宗門人別帳など、村の基本情報や住民情報を記した帳面や古文書が、大庄屋の住んでいる村以外の村の分も含めて伝わっているのです。また、地域の村々が抱えていた紛争や生業を阻害する諸問題などについて人びとが領主に訴える際には、大庄屋自ら管轄している村々やその周辺の村々とも協働し、行動していましたので、当時の人びとが何に苦しんでいたのか、それをどう改善しようと模索していたのかという、人びとの生々しい生き方を追うことができる点においても貴重です。このような人びとの訴えは、江戸時代の村の実像とともに、まさに「時

代が動く」ときの社会状況や原動力を知るためには不可欠の史料だからです。そして、大庄屋についてもまだまだ解明されていないことが多く、現在においても各地の大庄屋の実像を追究し、他地域との比較研究を進めていく作業が継続されています。そのための素材としても貴重な資料といえるでしょう。

このように「小島家文書」には、江戸時代研究にとって興味深い古文書がバラエティ豊かに残されています。そして何より魅力的なのは、これだけの膨大な古文書群が、『福井県史』を除いてはほとんど研究に利用されていないということです。つまり、「小島家文書」を使って江戸時代の研究を進めれば、何か新しい知見が得られる可能性があるということです。現在では、比較的容易に古文書の写真が閲覧できる環境が整っていますので、皆さんも、「小島家文書」を使って江戸時代の謎解きに参加してみたいかがでしょうか。



長谷川先生には、隼田嘉彦先生（名誉教授）ご退官後、小島家文書に関する研究を引き継いでいただき、本誌にも毎号連載いただいておりますが、この度、ご転出されることとなりました。長きにわたるご尽力を感謝いたします。ありがとうございました。

伊崎文庫の紹介

—太宰治研究の新たな拠点として—



語学センター日本語教育部

准教授 膽吹 覚

IBUKI Satoru

専門：書誌学、日本文学

好き：岡本綺堂、京極夏彦

苦手：ライトノベル

2015(平成27)年、本学総合図書館に伊崎文庫(特殊資料室内)が創設された。伊崎文庫は本学名誉教授・伊崎公德氏が長年にわたって蒐集・所蔵されていた太宰治関係の書籍約450点を、伊崎氏より一括して本学に寄贈いただいたものである。

伊崎公德氏は1934(昭和9)年、青森県弘前市生まれ。1963(昭和38)年に金沢大学大学院を修了。その後、同医学部付属病院神経科・精神科に医師として勤務。伊崎氏の専門は神経病理学である。1976(昭和51)年に福井県立精神病院院長に就任。1983(昭和58)年に国立福井医科大学(現在の福井大学医学部)精神医学講座教授に着任し、1999(平成11)年3月に同大学を退官。同年4月より福井県立大学看護福祉学部教授に就任。89歳の現在も現役の医師として、松原病院(福井市)の顧問を務めておられる。

2021(令和3)年4月8日、私は総合図書館で伊崎氏とお会いし、伊崎氏の太宰治、そして伊崎文庫への想いを伺った。本稿ではこの日のインタビューを織り交ぜながら伊崎文庫の概要を紹介したい。

伊崎氏が太宰治の作品や研究書を蒐集し始めたのは、氏が金沢大学に医師として勤務した頃からだという。伊崎氏が太宰に関心を寄せた理由は、太宰が伊崎氏と同じ青森県出身であったからだという。太宰は1909(明治42)年に青森県北津軽郡金木村(現在の五所川原市)に生まれた人である。太宰が死去した1948(昭和23)年当時、伊崎氏は14歳であった。また、伊崎氏は精神科の医師という立場からも太宰に関心を寄せていたと語っておられた。自殺未遂や薬物中毒を繰り返しながらも小説を発表し続ける太宰は、精神科医にとって学問的

に興味ある対象であったのであろう。

伊崎文庫は、(1)太宰治及び彼の作品に関する研究書、(2)『太宰治全集』(筑摩書房版)や日本近代文学館編『名著初版本復刻 太宰治文学館』などの全集類、(3)太宰の小説の単行本、(4)その他(図録やパンフレットなど)に大別できる。

その中心(約7割)を占めるのは(1)太宰治及び彼の作品に関する研究書である。伊崎文庫を閲覧した研究者の一人は「これほどの数の太宰に関する研究書が1ヶ所にまとまって所蔵されていることの意義は大きい」と評価しておられた。太宰は現在でも人気のある作家であり、その研究者、愛読者は多い。現在、太宰の自筆原稿や草稿などは日本近代文学館(東京目黒区)に所蔵されており、太宰の遺品などは彼の生家を利用した斜陽館(青森県五所川原市)に保管されている。しかし、この2館はともに福井県から遠く、北陸地方に住む研究者には不便である。そうした研究者にとって、伊崎文庫は恰好の研究拠点となるであろう。なお、伊崎文庫は特殊文庫であるので、その利用は館内での閲覧に限られている。



太宰治及び作品に関する研究書 (一部)

一方で、(3)太宰の小説の単行本は30点に満たない。また、その文庫本(小説)もほとんど収蔵されていない。インタビューで私は伊崎氏に、「ご寄贈された書籍の他にご自宅に単行本や文庫本を残しておられるのか」と伺ったところ、その答えは否であった。太宰に関する研究書の数に比べて、その単行本・文庫本はかなり少ないといってよい。これも伊崎文庫の特徴と言ってよいだろう。インタビューでも伊崎氏の単行本へのこだわりはほとんど見られず、ましてや初版本への執着はまったく感じられなかった。

インタビューの最後に伊崎文庫の今後について伺った。伊崎氏は「若い人に太宰治の作品を読んでほしい。そして、この文庫が活用されることを望んでいる」とおっしゃっていた。太宰の作品は総合図書館3階と閉架書庫とに配架されているので、学生諸君にはそれらを借り出して読んでほしい。そして、本学の伊崎文庫が太宰治研究の新たな拠点となり、今後、太宰治に関する研究が更に進展することを期待したい。



総合図書館一階ラウンジで、伊崎先生(右)にインタビューする膽吹先生(左)



伊崎文庫の様子 (一部)



太宰治作品初版本



『人間失格』(筑摩書房 1948年)と、短編集『女の決闘』(河出書房 1940年)より『走れメロス』

「伊崎文庫」の図書閲覧をご希望の際は、OPAC(蔵書検索)で検索し、書名等をお知らせください。職員がお持ちします。また、今夏(7/16予定)には、公開講座「太宰治を愉しむ—『人間失格』『走れメロス』の装幀を中心に—」を開催します。学内外問わず、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

BOOKS HUNTING

2年ぶりにブックハンティングを開催しました。ハンター達に選ばれた本をコメントと共にご覧ください。



『世界中で愛される 美しすぎる猫図鑑』

ただ美しいだけの写真集ではなく、各猫の毛色のパターンや性格、歴史など様々な情報が載っており、大変参考になりました。推しはメインクーンです。(工学)

福田豊文 写真 / 今泉忠明 監修
大和書房, 2020
総図-3F閲覧室 645.7||IMA



『迷宮駅を探索する』

元々鉄道に興味があり、帰省や就活等で愛知に帰る際に利用する名古屋駅についても解説があったのでこの本を選んだのだが、名古屋を含む日本を代表する様々なターミナル駅の複雑さの原因を、歴史やその土地の風土、私鉄、JRや他の企業との関わりなど様々な観点から紐解いているのがとても面白かった。ここで紹介された駅以外の普段使っている駅にも、どのような事情があって今の姿になったのかより深く知りたいと思った。(工学)

渡瀬基樹 著
星海社, 2021 (星海社新書: 197)
総図-3F閲覧室 686||WAT



『世界史講師が語る教科書が教えてくれない「保守」って何?』

自分は、最近政治に興味があり、その政治の世界でよく使われる保守という言葉がよく分からなかった。この本では、著者が予備校の講師ということもあり、分かりやすく述べられている。また、政治の歴史も学ぶことができ、NEWSや新聞を読む上で必要な基礎知識が身につくと思う。読後、さらに政治を詳しく知りたいという好奇心も引き出してくれる一冊だ。(工学)

茂木誠 著 / 祥伝社, 2021
総図-3F閲覧室 331.4||MOG



『母親からの小包はなぜこんなにダサいのか』

小包を通して、さまざまな母娘が描かれる。女性の幸せのかたちはひとつでないと思知らされた。どの話も最後は穏やかな気持ちになれるので、一人暮らしに疲れた時におすすめ。(医学)

原田ひ香 著
中央公論新社, 2021
医図-2F閲覧室2 913.6||2021||ハ



『史上最強 SPI&テストセンター 超実戦問題集』

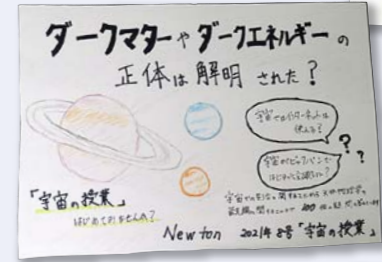
就職活動でどうしても勉強しなかった内容の書籍を用意していただきました。最新版であることも信頼性もあり、非常に自分のために有効活用することができました。ありがとうございました。(工学)

オフィス海 著 [2023最新版]
ナツメ社, 2021
総図-3F閲覧室 307.8||OFU

LA ラーニングアドバイザー お手製ポップ!

『Tugumi』

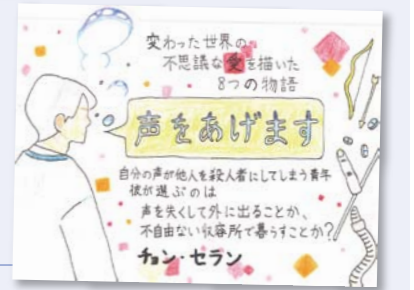
吉本ばなな 著
中央公論社, 1992
総図-3F閲覧室 913.6||YOS



医学図書委員からも!

『声をあげます』

チョン・セラ 著
斎藤真理子 訳
亜紀書房, 2021
医図-2F閲覧室2 929.13||2021



※これらはブックハンティングされた本の一部です。



『恐竜の教科書: 最新研究で読み解く進化の謎』

幼少期から持っていた恐竜のイメージとは異なることが書かれており興味深かった。(工学)

ダレン・ナイシュ, ポール・バレット 著
吉田三知世 訳 / 創元社, 2019
総図-3F閲覧室 457.87||NAI



『5分後に涙が溢れるラスト』

人との交流が少ない今こそ読みたい短編集。人の温かみを感じることができるうえ、泣いても部屋なら恥ずかしくないストレス解消にもなる。おすすめはp79「隣の家のホームレス」(工学)

エプリスタ 編
河出書房新社, 2021
総図-3F閲覧室 913.68||GOF



『常識のない喫茶店』

飲食店で働く方も、そうではない方も共感できるモヤモヤに正面から向き合うお仕事小説。お店が実在していたら行ってみたい。(医学)

僕のマリ 著 / 柏書房, 2021
医図-2F閲覧室2 914.6||2021



『日本の建築家解剖図鑑: 名建築に込められた建築家たちの意図を読み解く』

資格試験で建築家の住宅が出题されますが、問題や回答にはモノクロでよくわからない写真しかないため、イラストやわかりやすいコメントがあり、わかりやすかったです。(工学)

二村悟 著 / エクスナレッジ, 2020
総図-3F閲覧室 523.1||NIM



『合成テクノロジーが世界をつくり変える: 生命・物質・地球の未来と人類の選択』

21世紀はバイオテクノロジーの時代と言われていますが、ヒトは絶滅種を復活させ、気候を操り、ヒトすら設計するまでになっており、それに伴う倫理的責任が問われるようになってきました。生物分野の将来に興味のある学生は読んで損はないと思います。(工学)

クリストファー・プレストン 著 / 松井彦彦 訳
インターシフト, 2020
総図-3F閲覧室 504||PRE



『倒産続きの彼女 = Ms.Bankruptcy』

弁護士のミステリー小説でしたが、弁護士の仕事がとても感じなかがわかって面白かったです。私の好きな伏線回収系のお話でした。どんどん読み進めたいと思わせてくれるような本で、読んでいて楽しかったです。この本は、本を読むのが嫌いな人でもすぐ読み終わってしまうと思います。(工学)

新川帆立 著 / 宝島社, 2021
総図-3F閲覧室 913.6||SHI



『ひとりひとりの「性」を大切にできる社会へ』

様々な個性が集まる人間関係の場で、当たり前のことだがそれぞれ考え方も感じ方、個性も違う。それなのに、世の中では性別や個性を理解する前に否定して、相手を傷つけることがよく見受けられる。この本では、周囲の人の性別をひとつの個性として受け入れ、相手に温かく接することができるようになる価値観が身につくと思う。多くの人に読んでほしい、LGBTなどの方に当たりの強い風が弱まり、温かい世の中になるといい。(工学)

遠藤まめた 著 / 新日本出版社, 2020
総図-3F閲覧室 367.9||END

図書館 with コロナ 2021



グラフは福井県の感染者数

2021	2022
<p>4</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月6日 入学式 (新入生のみ入場・ライブ配信) 4月23日~ 感染特別警報 <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月 電子Book LibrariE (ライブラリエ) 開始 電子ブック MEL 試読 サービストライアル 8日 伊崎文庫 (太宰治コレクション) 追加寄贈 2日~18日 臨時休館 22日~25日 臨時休館 26日~5月16日 平日夜間閉館中止 郵送による資料貸出・複写 サービス提供 28日 教育博物館へ 教育関係掛け図資料寄贈 【企画展示】 新入生を応援する本 	<p>5</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月17日~ 遠隔授業実施 5月29日~30日 大学祭 (文京C) 中止 <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月 17日~31日 開館時間等変更 無人開館中止
<p>6</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月1日 感染特別警報解除 対面授業再開 6月21日~ ワクチン 職域接種開始 6月25日~ 遠隔授業 <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月 LDCの図書館 管理運用開始 (貸出返却、ブース利用受付) 当館所蔵の漢籍目録を全国漢籍データベースに新規登録 1日 LA (ラーニングアドバイザー) 活動再開 7日 古本市 11~14日、22~24日 学内感染者発生のため、夜間閉館中止、または閉館等の措置 11日~7月8日 教科書展 16日 Oxford University Press フルテキストジャーナルトライアル 【企画展示】 授業をつくる 【企画展示】 図書委員のおススメ本 雑誌リユース 	<p>7</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月9日 対面授業再開 <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月 国立大学協会広報誌「国立大学」第60号『進化し続ける大学図書館』に当館事例掲載 2日 SD 研修会 「伝わる・わかる・もりあがる グラフィックレコード 体験セミナー」 21日 [オンライン] 学生図書委員連絡会 【企画展示】 教員推薦図書 【企画展示】 福井の魅力をお教えます! 【企画展示】 信貴山縁起絵巻とマンガ
<p>8</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパス 対面型中止 <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月 SD文庫設置 電子ブックハンティング 【企画展示】 冷やしシンジョ始めました 雑誌のリユース市 26日 県内新任教員による ボランティア受入れ 	<p>9</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生交流センター竣工 9月30日 9月期学位授与式 (卒業生のみ) <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月 EBSCO データベーストライアル デジタルアーカイブ リニューアル公開 8日 [オンライン] 第32回日本医学図書館協会北信越地区会研修会 22日 [オンライン] CINAHL with Full Text 講習会 24日 [オンライン] 英語論文執筆 セミナー 【企画展示】 大型本を開いてみよう! 中学生の見学
<p>10</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月1日 秋季入学式 (入学生のみ) 10月15日~ キャンパス イルミネーション2021 <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月 ホームページリニューアル公開 9日 福井県立教育博物館にて 掛け図資料贈呈式 17日~11月7日 ブックハンティング (書店) 27日 第1回医療情報勉強会 【企画展示】 祝! ノーベル物理学賞 ミニ展 【企画展示】 本を読み、世界を広げ、人々の一筋の光になろう 【企画展示】 2020年度のリクエスト本 	<p>11</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月10日 学生への「食の支援」実施 <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月 第2回医療情報勉強会 8日~21日 秋だ! 読書だ! ブックハンティング! 【企画展示】 後期シラバス教員推薦図書 【企画展示】 LAのおすすめ本 高校生の見学 16日~ ジャパンナレッジ大漢和辞典等 トライアル EBSCO 電子ブック試読トライアル
<p>12</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月10日~ クリスマス イルミネーション 12月17日 with コロナ 学生アイデア コンペ授賞式 <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月 2日 [オンライン] 学生図書委員連絡会 3日 てつがくカフェ 10日 LAによる卒論トーク! 15日 クリスマスコンサート 22日 第3回医療情報勉強会 【企画展示】 世にも美しい本 ブックハンティング展 小学生の見学 BrowZine トライアル FUKUDAI プレス12月号特集 そうだ大学図書館へ行く 	<p>1</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月4日~ 遠隔授業実施 1月17日~ 対面授業再開 <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月 電子ブック「医書.jp eBook アラカルト」トライアル 科学道 100冊展 障がいや病について考える展 (保健センター) 26日 第4回医療情報勉強会 28日 [オンライン] 論文執筆セミナー第2弾 【コラボ展】 先端繊維の先進世界 【企画展示】 和装本で見る医学の歴史 国試応援メッセージ エレベーター改修工事
<p>2</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業式 (卒業生および修了生のみ・ライブ配信) <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 2月 28日 [オンライン] 目次読書法ワークショップ 3月 2日 第5回医療情報勉強会 16日 講演会 [オンライン] 「オープンアクセス時代の論文投稿とハゲタカジャーナル」 22日 卒業記念コンサート 【コラボ展】 物理博物館 (予定) 	<p>3</p> <p>学内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月23日 卒業式 (卒業生および修了生のみ・ライブ配信) <p>総合図書館 医学図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月 2日 第5回医療情報勉強会 16日 講演会 [オンライン] 「オープンアクセス時代の論文投稿とハゲタカジャーナル」 22日 卒業記念コンサート 【コラボ展】 物理博物館 (予定)

TOPICS with 学生・教職員・部局・学外

図書館では、様々な取組みを行っています。
 昨年度(2021)の取り組みについていくつかご紹介します。
 次はあなたとコラボできるかしれませんね♪



卒論トーク!

with LA (ラーニング・アドバイザー)
 於総合図書館コモンズ

学部生の皆さんへ

コロナ禍対策によるリモート授業増加の影響で、2021年度はLAへの相談者が急増しました。
 そのことを踏まえ、2022年度は、4月6日からLAは活動します。
 履修登録に迷える新入生はもちろん、学習等に困ったら相談にいらしてください。頼もしい先輩があなたの悩みを一緒に考え、解決に導いてくれます。



てつがくカフェ

with 西村 高宏 先生 (医学部 国際社会医学講座)
 於総合図書館コモンズ

参加者 学生・職員・他校の学生・一般市民 11名

「こころとは何か」をテーマに、各人の想いや考えを語り合い、他者の意見に驚き、共感し…新しい脳トレのような非常に興味深い内容ですので、皆さんにも体験いただきたいです。初めて文京キャンパスで行いましたが、次回開催もあるとのこと。お楽しみに。



医療情報勉強会 第1~5回

with 細川 康二 先生 (麻酔科蘇生科)
 於医学図書館グループラボ

詳細で多岐にわたる医療情報について、効率的に収集、批判的に吟味、効果的に使う、をポイントに、グループワークを行いました。昨年度はRCT、システマティックレビュー、BMJを取り上げています。今年度も引き続き行います。



「伝わる・わかる・もりあがるグラフィックレコード体験セミナー」

with 有志の会 IPPO
 於総合図書館コモンズ
 講師 岩崎かおり氏 参加者 24名

本来、学生向けの企画でしたが、コロナ禍により、教職員向けに開催しました。
 会議など話し合いの場において、絵や文字をデザインしてレイアウトすることにより、互いにイメージを共有しやすくなるということで、理論や方法を伺い、実技、発表、質問と活気あふれる会となりました。次は学生の皆さん向けに開催しますので、こちらも楽しみに。



先端繊維の先進世界

with 山下 義裕 先生 (繊維マテリアルセンター)
 於総合図書館コモンズ展示ブース

本学の所蔵本と山下義裕先生(繊維マテリアルセンター)とのコラボ展です。
 小さなかawaii試験管に織物の繊維標本がずらりと並ぶ「織物標本」(総合図書館 書庫・大型本 586.47/KAT)かたや、本学の繊維マテリアルセンターで研究されている先端繊維の製品がずらりと並び、壮観でした。
 今春は、「物理博物館」とのコラボ展を開催します。どうぞお立ち寄りください。



LDCがいつでも使えるようになりました

 国際課

総合図書館2階にあるLDC (Learning Development Center) の窓口業務を図書館のカウンターで代行することになり、図書館の開館時間中は、常に使えるようになりました。また、LDC内の図書も館内の図書と同じように貸出・返却・延長できます。(一部不可) ブース利用の手続きも1階カウンターで行っています。便利になったLDCを益々ご活用ください。



LDC
無人開館になりました

本の貸出、返却は
総合図書館カウンター、自動貸出返却装置にて手続きできます。

個人ブースを使用したい時は
総合図書館カウンターで申込みして下さい。

日本医学図書館協会北信越地区会研修会

本学医学図書館主催

オンライン  参加者 24名

- 講演1 寺脇 一寿氏
『医中誌 Web バージョンアップについて』
- 講演2 小嶋 智美氏
『医学文献から考える、ライブラリアンの仕事と学び方』



昨年はコロナ禍により中止となりましたが、今年は本学がオンラインで開催しました。そのため、北信越の会員館だけでなく、他地区および県内医療機関の図書室等、数多くご参加いただきました。



「SD (Staff Development) 文庫」ができました

本学 峠岡監事から、職員の方達に読んでもらいたいと、ビジネス・地域関係書146冊が寄贈されました。その後、「島耕作」シリーズも増えたため、 commonsの壁面ボード横に専用の書棚を設置・配架しました。検索時に、配架場所：SD文庫と出てきます。こちらの本は、どなたでも借りられます。また、貸出期限はないので、仕事が忙しくてなかなか読めないあなたも、返却期限を気にせず利用できます。松岡キャンパスの方は OPACから「予約」して取寄せられます。どうぞご利用ください。



総合図書館から県立教育博物館へ 掛け図資料を寄贈しました



本学教育学部の基となる鯖江女子師範学校時代に作成された掛け図資料 62 点を福井県立教育博物館 (以下博物館) へ寄贈いたしました。これらの掛け図資料を元に、博物館に於いて特別展「わたし、先生になる! ~鯖江女子師範学校での学び~」が開催され、初日に、両館の館長により贈呈式が執り行われました。

これを機にその後も、昭和期の教科書等、博物館で未所蔵の資料を追加で寄贈するなど、絆は続いています。図書館では主に教育・研究用に供し、博物館では一般市民に供され、より広く有効に使われることとなります。



今年度、 寄贈された教員著書です

このほか、学生の皆さまの保護者による後援会からの寄附金により、毎年多くの本を購入しております。最近リモート学習用に電子ブックも購入しております。

皆さまのご理解・ご支援に深く感謝し、利用者の皆さまによりよいサービスを提供できるよう、有効に活用してまいります。



空気清浄機が設置されました

福井大学基金へ新型コロナウイルス対策用にご寄附いただきました寄附金を活用して、空気清浄機を設置しました。(総合図書館 8 台、医学図書館 5 台、総合情報基盤センター 2 台) これまで窓を開けて換気するため、夏は暑く、冬は寒く、利用者の皆さまにはウイルス対策のためと耐えていただきましたが、お陰様で快適な環境で、学習・研究ができるようになりました。ご寄附いただいた皆様の温かいお気持ちに、心から感謝申し上げます。



マンガ@総合図書館ラウンジ

昨年は、中華ものや戦争もののマンガコレクションで賑わっていましたが、今年は、新たな篤志スタッフにより、続々と新たなジャンルが加わって大進化中です。

『海街diary』、『響』、『ブルーピリオド』、『弱虫ペダル』、『銀の匙』など、実写化・アニメ化され、タイトルを耳にしたものも多いのではないのでしょうか。

その他、中世ヨーロッパで地動説に命をかけた主人公たちの苦闘を描いた『チ。』をはじめ、『Dr. STONE』、『天地明察』など、科学を追い求めた主人公たちの活躍するマンガや、『もやしもん』、『ウラカタ』など、明るい大学生活のススメのマンガも多数あります。

学生さんからご寄贈の将棋マンガ『ハチワンダイバー』も

さらに、女子っぽいマンガもあります。ジェンダーレスに知識と視野を広げる入り口としても、楽しんでください。

*医学図書館には医学マンガが充実しています。
両館共、利用は館内のみです。



福井の地域情報も



読者プレゼント



枕にもなる
ペンケース
1名

マグネットクリップ
(3個セット)
4名

お豆腐メモ
(絹ごし)
2名

お豆腐メモ (木綿)
2名

アイデア文具をプレゼント。

下記のQRコードからご応募ください。

応募フォームにて、誌面向上のためのアンケートを行っています。
あなたの声をお寄せください。

● 応募の際のご注意

- ・応募資格は、本学の学生・教職員のみとなります。
- ・大学のgoogleアカウントでログインしてからご応募ください。
- ・当選者には、メールでお知らせします。
- ・応募締切りは2022年4月28日

